

ご あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
両丹支部長 福井 秀之
(京都府立西舞鶴高等学校長)

平成23年より2年間、本校が京都府高等学校体育連盟両丹支部事務局の大役をお引き受けし、昨年度は倉垣誠前校長が、本年度は私が支部長の任に当たらせていただきました。支部長が途中で交代するということになりましたが、山本誠三会長、小谷栄二事務局長をはじめ多くの皆様方の御指導や御支援をいただき、何とか任務を終えることができました。京都府高体連事務局や両丹支部の皆様方には格別の御協力をいただいたお陰でございます。関係のすべての皆様方に厚くお礼申し上げます。

今年度の高体連両丹支部関係の行事につきましては、主たる事業である両丹高等学校総合体育大会、両丹高等学校駅伝競走大会をはじめ、すべての各専門部の試合・行事等を役員や部顧問の皆様方の御尽力で無事成功裡に終了させることができました。改めて感謝申し上げます。

一昨年3月に発生しました東日本大震災から2年が経過しました。しかしながら復旧復興は遅々としている状況にあります。私たちは、何不自由なく通常の学習やスポーツに専念できることに感謝し、精一杯生きていかなければならないと改めて感じているところで

さて、今年度も両丹地域出身の生徒が全国において活躍をしています。団体競技においては、綾部高校の男子ソフトボールが昨年に引き続き、福知山成美高校の女子ソフトテニス部と海洋高校の男子レスリング部が初めて選抜大会に出場しました。個人においては、全国高校総体において、網野高校レスリング部の高谷大地君が66kg級優勝、伊藤和真君が60kg級優勝、国民体育大会においては同じく高谷大地君が66kg級優勝、伊藤和真君が60kg級優勝、また、ウエイトリフティングでは全国高校女子ウエイトリフティング選手権大会において、海洋高校の城下絢好さんが48kg級スナッチ競技で優勝しています。さらに全国高校定時制通信制体育大会には、陸上男女、ソフトテニス男女、バドミントン女子、卓球女子など、昨年以上に多くの選手が出場し活躍しました。

このような選手の活躍は、他の選手にとって大きな励みとなり、両丹地域の体育スポーツ全体のレベルアップにつながり、大変喜ばしいことです。これも常日頃から熱心に指導いただいている各校の顧問の先生方をはじめ、学校、保護者、地域の皆様のお陰と感謝申し上げます。

一方、生徒数の減少や部活動加入率の低下傾向等により、部員不足で大会に参加できないチームがあったり、大会運営が困難な競技が出てきたりしています。このことを受け、来年度以降の両丹での予選会について一部改訂を加えたところです。いずれにしても、高校生の心身の健全な発達と人格の陶冶において、運動部活動の果たす役割はきわめて大きいものがあり、両丹地域の運動部活動が一層活性化しますよう、今後とも御協力をお願いする次第です。

結びに、両丹支部長の任を終えるにあたり、御協力、御支援いただきました関係の皆様方に感謝申し上げますとともに、高体連両丹支部の一層の発展と皆様方の御健勝を祈念してあいさつとさせていただきます。